

学校教育目標	「自分が輝く みんなも輝く」 ○自分から進んで学び、経験や知識を活かしていく力を育てます。(知) ○自分を大切にし、人に優しくできる心を育てます。(徳) ○自らの健康を見つめ、体力を高め、たくましく生きようとする態度を育てます。(体) ○丸山台のまちを愛し、よりよい地域や社会に向けて自分の役割を果たそうとする態度を育てます。(公) ○広い視野をもち、未来に向けてともに生きていく力を育てます。(開)				
	学校概要 創立 40 周年 児童生徒数: 398 人	学校長 新井 篤志 主な関係校: 丸山台中学校	副校長 野村 光	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力>	丸山台中学校 下野庭小学校 野庭すずかけ小学校	○いつでも元気よくあいさつできる子ども ○自分も仲間も大切にできる子ども ○すすんで学習しようとする子ども 小中の連携を深め、授業力の向上を目指して ・授業参観および研究協議の機会を年4回設定します。 ・担当者会議を年5回設定します。 ・小中職員が一堂に会する合同研修会を年1回設定します。

中期取組目標	○子ども一人ひとりを大切に、「チーム丸山台」として全職員で活気と魅力ある学校づくりを目指します。 ・自分からめあてをもち、自分らしさを発揮しながら夢中になって問題解決する授業づくりに取り組みます。 ・異学年、異校種交流や地域との連携を大切にしながら、自尊感情や自己有用感を育み、コミュニケーション能力を高め、誰もが安心して豊かに生活できるようにします。 ・まちや社会で働く人との出会いや学びを通して、自分の将来への夢や希望をもって生きようとする態度を育てます。 ・『食』の学びを中心に、健やかな体と豊かな心を育むとともに、広く社会に目を向け、共に活動する姿勢を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく力 担当 研究推進委員会	①学習状況調査の結果から、各学年の課題を明確にし、学力定着に向け計画的な指導を行う。 ②主体的に粘り強く問題解決に取り組み、自己の学びを振り返る子どもを育てる。 ③算数を中心に、子ども同士が、考えや思いを表現し合い、高め合うことができるようにする。
豊かな心 担当 人権福祉・道徳	①対話により見方・考え方を広げ、多様な考えを受け入れられるような資質を養う。 ②社会や集団の中での役割を意識できるよう異学年交流を中心にした教育活動に取り組む。また、思いやりや共生の心を育てる『食』の学びの指導を、系統的に行う。
健やかな体 担当 体育部・食の学び	①児童自ら継続的に運動能力・体力向上に取り組めるように、運動に親しむ姿勢を育てる。運動能力と体力を支える生活習慣について理解し、自己の生活の中で実践できるようにする。 ②保健教育では、食生活のあり方も含めたよりよい生活習慣を主体的に考え、健康の保持増進を自ら図る態度を養う。
特別支援教育 担当 研究部・特別支援教育	①特殊音節の読み書きの獲得を円滑にするための研修を行い、実践していく。 ②職員会議や校内委員会で、情報を共有したり支援の仕方について検討を行ったりして、一人一人の支援に生かしていく。個別的教育支援計画・指導計画を活用していく。
児童生徒指導 担当 児童指導・幼保小推進	①一年を四期に分け「自分づくりパスポート」等で成長が中学校まで継続して見られるようファイリングし、目標をもったり振り返ったりすることで、自己実現の力を育てる。 ②配慮を要する児童の実態や支援の方法、「学校生活のきまり」を共有することで、一貫した指導が継続できるようにしていく。
地域連携 担当 教務・指導部	①商店街・自治会・長寿会・農協・幼保小などの地域との連携を大切に学習活動を通して、児童が地域への関心をもてるようにする。 ②地域の材を活かし、地域の方々等との関わりを深めて、これまでの学びを生かしながら積極的に地域の活動に参加していく。
自分づくり教育(キャリア教育) 担当 教務・指導部	①各学年で食の学びに取り組み、「食」とのつながりを知り、感謝の気持ちをもつとともに、食の安全安心と課題について知る。 ②地域の人々と関わり、様々な職業について考えるとともに、自分たちが住むまちのよさや伝統に気付き、これからの自分について考える。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①職員間の情報共有を密に行い、いじめ防止委員会を中心に各関係機関とも連携し組織的に対応する。 ②Y-Pアセスメント、児童アンケートを年2回行い、安心できる学級風土づくりを心掛け未然防止に努める。児童の日常をしっかりと見取り、些細な変化を見逃さない体制づくりを行う。人権を尊重した指導を行う。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 教務・メンターチーム	①メンターチームを組織し、互いに学び合える研修を行う。全職員で研修内容を共有し、人材育成に取り組む。 ②三部長と管理職で課題を共有し、各部署で主体的、かつ組織的に課題解決に取り組む。 ③グループウェアの積極的な活用を図り、情報共有を行い、打合せの時間短縮や伝達の効率化を図る。